



特集

滝子キャンパスにオープンした「TAKI teria」 夕闇迫る時刻でも学生の憩いの場に(→P2)

特集① 令和4年度 **卒業式・修了式**、令和5年度 **入学式**を執り行いました

特集② THEインパクトランキング2023

SDG3(健康と福祉部門)で**世界7位(2年連続国内1位)!**



特集③ 新しい憩いの場**TAKI teria**がオープンしました

01 特集

03 〈新企画〉NCU TRY!!

06 TOPICS

08 国際交流

09 学生の活躍

10 受賞関連／表彰関連

11 イベントカレンダー／教員著書・発行物紹介／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課

tel.052-853-8005

特集
1

令和4年度 卒業式・修了式を 執り行いました



式典の様子はコチラ

2023年3月24日(金)、例年より早く見ごろを迎えた桜の花が彩る中、1,027名(学部生809名、大学院生218名)の卒業生が本学を巣立ちました。



卒業生コメント

経済学部 会計ファイナンス学科卒業 柴田七歌 さん

4年間ありがとうございました!卒業後は、これからの新時代創生の一端を担える人物となれるよう、日々精進して参ります。2023年度からはデータサイエンス学部が設立されるなど、さらに学べる分野が広がる名市大。年々飛躍していく姿は、卒業生として誇らしいです。その歩みを止めることなく、さらに発展していくことを願っています。



令和5年度 入学式を執り行いました

2023年4月5日(水)、新たに1,334名(学部生1,058名、大学院生276名)の入学生が本学の門をくぐりました。感染症対策を行いながら、4年ぶりに保護者の皆さまにも出席いただくことができ、会場は自然と笑みがこぼれる素敵な雰囲気になりました。



式典の様子はコチラ



浅井学長コメント

※式辞より抜粋



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。この日を心待ちにされてこられたご家族や関係者の皆さまに心よりお祝い申し上げます。本日皆さんをお迎えし、我々教職員は、時に厳しくも温かく接し、皆さんが将来社会の作り手となり活躍いただけるよう、全力で支援してまいります。皆さんには、支えてくださる周囲に感謝するとともに、名市大を愛し、誇りを持っていただきたいと思います。今年度から新たにデータサイエンス学部を開設するなど、8学部5病院を有する都市型総合大学となった本学で、皆さまが学部の壁を越えて多様な専門領域を学び、幅広い教養と深みのある人間性を備えた人物に育ち、次世代のリーダーとなることを願っています。

特集
2

THEインパクトランキング2023 SDG3(健康と福祉部門)で 世界7位(2年連続国内1位)!

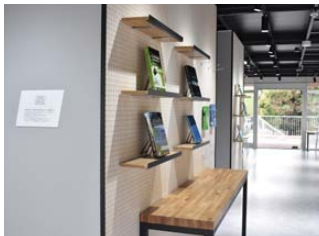


2023年6月1日(木)、イギリスの高等教育専門誌「Times Higher Education (THE)」が発表したTHEインパクトランキング2023で、本学は総合ランキングで世界201-300位、国内同率9位でした。SDG別のランキングでは、SDG3「すべての人に健康と福祉を」において、過去最高順位となる世界7位(2年連続国内1位)にランクインするなど、本学のSDGs活動が高い評価を受けました。これは、大学の社会貢献の取り組みをSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みを使って可視化したランキングです。今後も本学では、世界をリードする大学を目指し、国際社会共通の課題に積極的に取り組んでまいります。



特集
3タキテリア
新しい憩いの場 **TAKI teria** がオープンしました

滝子キャンパスに飲食交流施設「TAKI teria」がオープンしました。「TAKI teria」はデータサイエンス学部新設、看護学部定員増加などに合わせて整備された福利厚生施設で、1階はおいしい食事やドリンクが楽しめるカフェスペース、2階はソファ席やビッグテーブルが配置された居心地の良い空間となっています。



date 3.28 名称募集・施設命名者表彰

「TAKI teria」の名称は、学生からの公募の結果、廣瀬礼奈さん(大学院人間文化研究科博士前期課程臨床心理学コース 2023年3月修了)の案が採用され、決定しました。



命名者の廣瀬さん

<コンセプト>

滝子とカフェテリアを組み合わせ、親しみやすい「TAKI teria」としました。「自らの嗜好に合わせて好きな食べ物を選択できるようにした食堂」であるカフェテリアと絡めて、学生が自らの目的に合わせて好きな使い方を選択できるようにという思いが込められています。

date 4.6 オープニングセレモニー

オープンに先立ち実施された4月6日(木)のオープニングセレモニーでは、アカベラサークルAndanteの歌声とともに、郡理事長、浅井学長、株式会社スペース・株式会社オノコム共同企業体、Andante代表の安藤百香さんによるテープカットが行われました。



date 4.12 オープン

2023年4月12日(水)に正式なオープンを迎え、多くの学生に利用されています。TAKI teriaが滝子キャンパスに通う学生や教職員、地域の皆さまから愛され、コロナ前を超える活気を滝子キャンパスにもたらす施設となることを願っています。



メニューの pasta セットとクレープ



夜も20時まで営業

令和5年度より本学の**副理事長・事務局長に就任されました**
鈴木峰生氏にお話を伺いました

多岐にわたり地域に貢献できる大学へ

本年度から副理事長・事務局長(中期計画・SDGs)を拝命いたしました。今年度、本学はデータサイエンス学部の新設や、みどり市民病院・みらい光生病院の医学部附属病院化など、新体制として始動しています。これによりさらに幅広い分野で地域に貢献し、愛される大学となれるよう、尽力してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

副理事長・事務局長(中期計画・SDGs) 鈴木 峰生





名古屋市立大学医学部附属
みどり市民病院



病院長 浅野 実樹

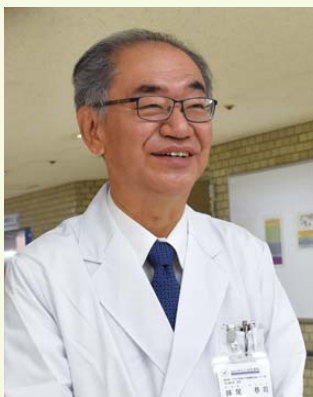
みどりの心で MIDORI reborn

2023年4月1日より市立緑市民病院は名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院として新たな医療チームのもと再生スタートいたしました。緑区・名古屋南部エリアの地域密着型大学病院として安心安全な高度先進的医療の提供、感染症治療や救急医療への対応、優れた医療人の育成そして健康福祉のための先制的医療研究を実施いたします。患者さんの幸せを探求する『みどりの心』で地域医療の持続的な発展と幸せな健康未来の創出に貢献してまいります。



みどり市民病院外観

市立病院時代の標準的な医療を深化・重層化し急性期から回復期医療までの「治し支える医療」をワンストップで実践いたします。AI診断内視鏡検査やロボット支援整形外科手術など安全かつ高度先進的医療の提供や感染症・総合内科新設による新興感染症への対応に加え地域連携バスなどを核に地域医療機関との積極的な協働の推進で地域包括ケアシステムの発展に寄与させていただきます。また数年後に整備予定とされている新病院では、緑区を中心に加速する高齢者人口増大や災害リスクに対して行政とも協力しながら自律的に地域医療を持続して支える事ができる機能規模を計画しております。現在から未来へ、当院を含めた5病院（総病床数約2200）からなる附属病院群とのシームレスな診療連携で地域の皆さまが安心して生活できる医療サービスの提供を可能にしております。



名古屋市立大学医学部附属
みらい光生病院



病院長 妹尾 恭司

病院長を拝命致しました妹尾恭司でございます。当院は、2023年4月1日より名古屋市厚生院附属病院から「名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院」として新たな診療体制でスタートいたします。当院の理念の中にあります「健康寿命日本一の名古屋」を目指す医療を地域と連携して提供していきたいと存じます。皆さまから信頼され愛される病院となりますよう職員一同、一丸となって精進してまいりますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



みらい光生病院外観



先進リハビリセンター

新たな診療体制として専門外来を構成して各科が連携してワンストップで診療を行うセンター方式により「脳神経・内臓機能・運動機能・感覚器機能・やせと肥満の代謝機能」の回復・ケアを進めていきます。そして、そこから必要なリハビリへと繋いでいきます。先進リハビリセンターでは、先駆的な技術を駆使することで、患者さんのニーズに合わせた支援を行います。さらに、各種レーザー機器を取り揃えたアンチエイジングケアにも取り組みます。また、術後や急性期治療後の患者さんを受け入れて回復期リハビリを行い在宅への復帰を目指します。一方、3TのMRIや64列のCTを用いた画像検査の共同利用をすすめて地域の医療機関の診療に貢献していきます。以上のような医療体制を整えて元気で長生きしていただくための医療が提供できますように努力してまいります。また、医療・介護を支える優れた人材育成と健康長寿（百寿社会）に資する先端の臨床研究・データサイエンスにも取り組んでいく所存です。



データサイエンス学部



学部長 三澤 哲也

本年4月に誕生いたしましたデータサイエンス学部・学部長の三澤哲也と申します。データサイエンス(DS)は、AIなどの情報科学や統計学などの知識・技術を活用してデータから新たな知見を導き、様々な課題にアプローチする学問であり、社会のデジタル化の進行とともにその必要性が高まっている分野です。今後、DSに関わる教育、研究、学内・外との連携を通じて社会に貢献してまいります。何卒ご支援のほどお願い申し上げます。



学部ガイダンスの様子

データサイエンス学科は1学科制、専任教員14名、学生定員1学年80名、学位は学士(データサイエンス)で、滝子キャンパスに開設されています。

特色としては、1) 14名の専任教員が、DSの基礎分野およびIT、ビジネス、医療の3つのDS活用分野にバランスよく配置されており、各教員の専門分野を生かしつつ一体となって学部運営に取り組むことで多様なDS教育・研究が展開できること 2) 統計学や情報系の基礎知識・技術だけでなく、上記DS活用3分野に関わる応用科目や実務家にもご協力いただく課題解決型演習を通じて、DS活用の実践力養成も目指すことなどが挙げられます。

本学部は大学のDS教育を担う中心部局としても期待されており、昨年度から内定教員による教養科目「DSへの誘い」を開講、加えて本年度からは同じく「DSリテラシー」も開講します。昨年度から名古屋市健康福祉局との間で高齢者の健康福祉に関わる共同研究がスタート、同じく12月6日には読売新聞中部支社との連携による市民公開オンライン講座を開催しました。今後も学内・外との連携事業に積極的に取り組んでまいります。



市民公開オンライン講座の様子



名古屋市立大学病院

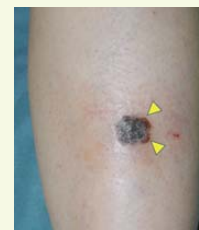


メラノーマセンター長
皮膚科 教授

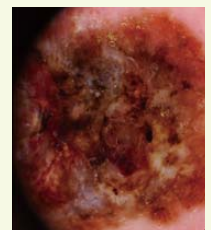
森田 明理

難治・稀少皮膚がんへの挑戦
—メラノーマセンター開設!

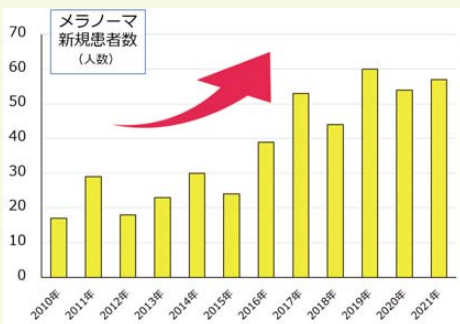
メラノーマ(悪性黒色腫)は皮膚がんの中でもきわめて悪性度が高く、生命予後に関わる疾患です。見た目が通常のほくろと区別がつかないものも多く(図1)、しばしば見逃しや誤診が起き、病勢が進行してから受診される患者さんも多くおられます。ダーモスコピーといわれるものが使用されるようになり、診断精度は上がり(AIアシストも始まります)、少し前までは、手術以



(図1)臨床像



ダーモスコピー像



(図2)

外の有効な治療法がなく、残念な経過を辿る患者さんが多くおられましたが、2014年にニボルマブ(抗PD-1抗体)が他のがん種に先んじて保険適用となり、分子標的治療薬等の新たな治療選択肢も登場し、既存の手術療法や陽子線治療などを組み合わせて治療することで劇的な予後の改善がみられています。新たな薬剤や組み合わせの医師主導型治験も進んでいます。治療が複雑化し専門性が高くなるため、専門施設と非専門施設の差が顕著になってきているような状況です。名古屋市は全国的に見ても非常に多くの患者さんに受診いただいております(図2)、より一層専門性を高めてそれを患者さんに還元することを目的にメラノーマセンターを開設いたしました。本センターでは皮膚科、腫瘍内科、放射線科、病理診断科、形成外科など複数の診療科の先生方にご協力いただく事で、迅速で正確な診断や、より最先端で適切な治療を患者さんに提供させていただくと共に、研究分野では新たな基礎的・臨床的なエビデンス構築を目標としています。メラノーマもしくはメラノーマの疑いのある方がおられたら是非ともメラノーマセンターへの紹介をいただけますようお願いいたします。



東部医療センター



眼科・レーザー治療センター長
野崎 実穂

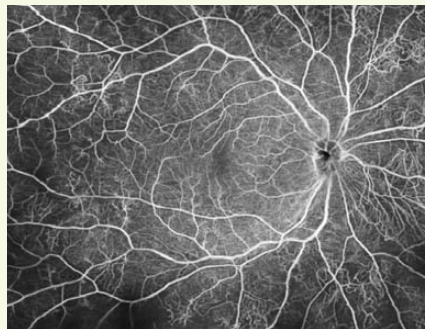
2023年4月から東部医療センターに『眼科・レーザー治療センター』が開設されました

1980年代から、様々な眼疾患に対してレーザー治療が行われてきましたが、近年、薬物治療の進歩により、“古典的”なレーザー治療は、やや下火になっていました。しかし、今までのレーザーとは異なる原理に基づいた“低侵襲”なレーザー機器が登場し、レーザー治療に再び注目が集まっています。東部医療センター眼科では、低侵襲レーザーの最先端機器であるナビゲーション機能搭載レーザー装置(Navilas)を導入し、薬物治療には反応しない難治性の黄斑浮腫や、中心性漿液性脈絡網膜症、糖尿病網膜症の治療を行います。また、当院には超広角の光干渉断層血管撮影も導入されており、アナフィラキシーショックのリスクがある造影検査を行わなくても、レーザー治療の

ターゲットとなる異常血管を描出できるようになっており、“低侵襲”な検査に基づく“低侵襲”なレーザー治療が可能になりました。そのほか、高眼圧症や緑内障に対するレーザー治療も行います。さらに、若手医師向けに、レーザー治療技術を習得するトレーニングプログラムも作る予定です。患者さんの“見える”を守るために、東部医療センター眼科・レーザー治療センターが総力を挙げて、レーザー治療を行っていく所存ですので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



ナビゲーションレーザーで治療を行う様子



広角の網膜毛細血管を描出できる光干渉断層血管撮影



西部医療センター

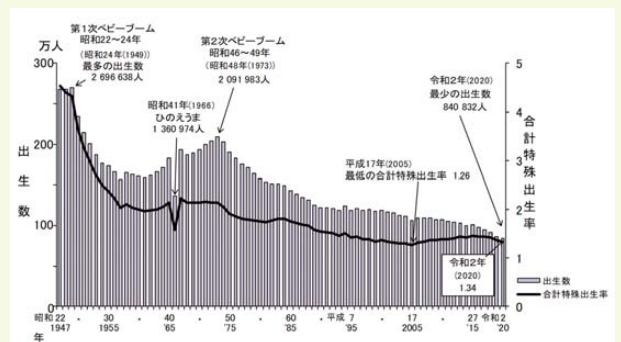


生殖医療センター長
梅本 幸裕

2023年9月、生殖医療センターが開設されます

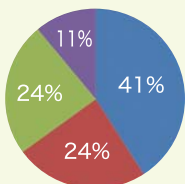
2022年の出生数は速報値で79万9千人と統計開始以来初めて80万人を下回りました。これは国の想定していた時期より11年も前倒しの数値となります。このままでは20年後には働き手もなくなってしまいます。2022年4月から不妊治療の一部は健康保険の適用になっています。それでも出産数は右肩下がりです(図1)。私たち医療側として取り組めることは、子どもが欲しいのになかなか授からない夫婦の力になることしかできません。

そこで西部医療センターでは従来行ってきた男性不妊症、不育症治療に加え本格的に生殖医療に取り組むことになりました。これにより少しでも挙児希望をされるご夫婦の希望に添える医療を行うことができます。驚くことに不妊の原因はおおよそ半分が男性にあります(図2)。夫婦生活ができていないのに男性が原因とは考えられない、まさか俺が、というカップルは是非一度検査や診察を受けていただくと、寄り道しないでまっすぐ最短で治療に取り組めるかもしれません。西部医療センターでの不妊症治療の特徴は体外受精、顕微授精といった治療はもちろんですが、上述のように男性不妊症および不育症といったすべての不妊症治療の取り組めることです。不妊症で悩んでいる、あるいは心配しているご夫婦は是非安心して当院の生殖医療センターにお越しください。



(図1)

厚生労働省HPより



(図2)

- 女性因子のみ
- 男女とも因子あり
- 男性因子のみ
- 因子なし

男性が半数


TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2023.3

令和4年度 大学機関別認証評価を受審しました

名古屋市立大学は、認証評価機関である一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる令和4年度大学機関別認証評価を受審し、令和5年3月に、【一般財団法人大学教育質保証・評価センターが実施した大学機関別認証評価において大学評価基準を満たしている】と評価されました。今回の評価結果を踏まえて、より良い大学となるよう改善に取り組んでまいります。



認定証

DATE 2023.2.18

令和4年度 名古屋市立大学 交流会総会・講演会を開催

2023年2月18日(土)に交流会総会・講演会を開催しました。総会では津田喬子氏を新会長に選出するとともに、議事の審議を行いました。また、講演会では、スポーツコメンテーターの山本昌氏をお招きし、「継続する心」と題してご講演いただきました。当日は多くの方にご参加いただき、学部や世代を超えて参加者が交流を深めました。

名古屋市立大学交流会とは？

名古屋市立大学、名古屋市立女子短期大学及び名古屋市立保育短期大学の卒業生や在学学生、退職された教職員、現役教職員等を会員とする全学レベルの組織です。

■名古屋市立大学交流会ウェブサイト
<http://www.koryukai.jp/>



令和4年度 名古屋市立大学交流会 総会・講演会


新会長に選出された津田喬子氏による就任のごあいさつ

DATE 2023.3.17

名古屋市交通局と包括連携協定を締結しました

2023年3月17日(金)に名古屋市交通局との間に包括連携協定を締結しました。互いの資源の交流・活用を促進し、多様な分野で協力を行うことで、市営交通事業の持続的・安定的な運営やサービス向上並びに大学における教育研究の充実及び学生の実践力の養成を図り、市民の誰もがいきいきと暮らせる地域社会の形成及び発展に寄与してまいります。

今後、連携協定締結を記念した、「健康」と「公共交通の利用」をテーマとした共催シンポジウムの開催や大学が医学的見地から監修した交通局主催のウォーキングイベントの開催を予定しています。



(左) 小林交通局長、(右) 郡理事長

DATE 2023.3.18


SDGsセンター

SDGsセンター主催シンポジウムを開催しました

2023年3月18日(土)に、SDGsセンター主催シンポジウム「SDGsが繋ぐ各市大と未来～健康と福祉のために大学ができること～」を本学田辺通キャンパスで開催しました。

SDGsセンター長の林秀敏教授による開会挨拶に続き、基調講演として、富山大学附属病院の山城清二名誉教授に「大学がちな医療と福祉とコミュニティ」というテーマでご講演をいただきました。その後、健康と福祉に貢献している各市大生の活動紹介として、医薬看連携地域参加型学習とPICo projectの指導教員と代表学生によるプレゼンテーションが行われました。

当日は本学の教職員、学生のほか、企業関係者、他大学教職員、自治体職員など、51名が参加しました。



富山大学附属病院の山城名誉教授による基調講演の様子

DATE 2023.2.21-26

芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

令和4年度 卒業修了制作展を開催しました

2023年2月21日(火)～26日(日)の間、北千種キャンパスと市民ギャラリー矢田において、芸術工学部4年生と大学院生による卒業修了制作展を開催しました。映像・メディアアート、サウンド、空間、UI/UX、プロダクト、グラフィック、3DCG、建築都市計画などの様々なテーマを通じて、現代社会と都市環境へのデザイン提案を目指した作品を展示しました。多くの来場者から好評をいただき、学生時代の集大成となる制作展となりました。



市民ギャラリー矢田の展示会場



北千種キャンパスの展示会場

DATE 2023.4.6

看護学部

中央看護専門学校統合記念交流会を開催しました

2023年4月6日(木)、看護学部・名古屋市立中央看護専門学校統合記念交流会を開催しました。市立中央看護専門学校の在校生が卒業する2024年度までは、本学看護学部の学生と同じ校舎で学ぶこととなり、両校の教員・学生の交流・親睦を深めました。交流会では、理事長、名古屋市健康福祉局長、各校代表の挨拶から始まり、テープカット、記念品贈呈、記念撮影を行いました。交流会後は、新しく整備された学生ルーム・ロッカールーム・120名が収容可能な大教室などの内覧会を行いました。



テープカットの様子

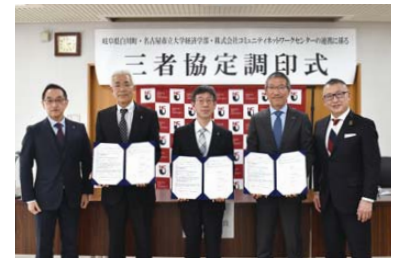


記念品贈呈の様子

経済学部

経済学部・岐阜県白川町・(株)CNCiの間で三者協定を締結

2023年3月3日(金)に締結されたこの協定は、本学学生の育成と研究者の研究力強化、岐阜県白川町における社会課題の解決、CNCiグループによる地域社会への課題解決への貢献と、社員の能力開発を目的としています。さっそく2023年4月より、地域の課題に産学官連携で挑戦する「共同講座」が開講されています。白川町が直面する、独居高齢者の見守り・対外的な認知度向上・地域産業の活性化等の課題を学ぶ第一部と、コミュニティネットワークセンター(CNCiグループ)が実践するDXやまちづくり事業の最新事例を学ぶ第二部を踏まえ、現在は学生・役場・職員・CNCi社員が課題ごとにグループを作り、克服策の提案づくりを行っています。9月には町長へのプレゼンテーションや、地域資源を発掘するキャンプを実施します。ご期待ください!



調印式の様子

大学ウェブサイト
「在校生の声」を更新しました

本学の魅力をPRする特設サイト「見る・聞く・知る名市大」に、2022年度在校生のインタビュー記事「在校生の声」を公開しました。各学部の在校生にインタビューを行い、本学への志望理由や現在学んでいる内容、将来的な目標などについて深掘りしてお聞きしました。それぞれの目標に向かって、本学で日々努力を重ねる在学生の皆さん。その強い気持ちがあふれるインタビュー記事を是非ご覧ください。



インタビューの様子(医学部 桐原さん)



名古屋市立大学病院

フォトンカウンティング検出器搭載2管球CT
「NAEOTOM Alpha(ネオトム アルファ)」を導入

名市大病院の第1CT装置にフォトンカウンティング検出器搭載2管球CT「NAEOTOM Alpha」を導入しました。新しい検出器による検査は、テレビがアナログ放送からデジタル放送に変わったかのように、鮮明で情報の多いCT画像を届けることができます。CT装置の精度が向上したことで、被ばくの低減や追加検査の省略による診療時間の短縮など患者さんへの負担が軽減し、救急医療現場における効率化など、さまざまなメリットが期待されます。



フォトンカウンティング検出器搭載2管球CT

期待されるメリット

- 低被ばく ●超高分解能
- 精度の高いスペクトラルイメージング
- 2管球システムによる高い時間分解能

(株)バッファロー様から、
新入生全員に充電器をご寄附いただきました!

株式会社バッファロー様から、昨年に引き続き令和5年度新入生にも全員にUSB Power Delivery対応充電器のご寄附をいただきました。このご寄附は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、よりDXが進む大学教育現場に対し、株式会社バッファロー様が取り組んでいる「教育DX支援プロジェクト」として行っている活動です。2023年4月10日(月)には、浅井学長から株式会社バッファローの渡邊副社長に感謝状の贈呈式を行いました。スマホからパソコンまでさまざまなデバイスの充電に使用できる充電器で、学生からも喜びと感謝の声が聞かれました。



感謝状贈呈式の様子(左)浅井学長、(右)渡邊副社長

大学院 医学研究科 大学院 芸術工学研究科

「ナゴヤ小中学生STEAMラボ」を開催しました

名古屋市教育委員会との連携事業として、名古屋市の小中学生を対象に興味のあるテーマへの探究活動を支援する「ナゴヤ小中学生STEAMラボ」を開催しました。医学研究科の奥野友介教授による「ウイルス探究コース」と芸術工学研究科の加藤大香士准教授による「ロボット探究コース」を講義し、計13名の子どもたちに特別講座を楽しんでいただきました。



ウイルス探究コースの様子



ロボット探究コースの様子

大学院 医学研究科 エコチル調査の参加者交流イベントを開催しました



交流イベントの様子

「エコチル調査」は、環境省の研究事業として全国15地区の大学等で約10万組の親子を対象に2010年度より実施されている世界でも稀に見る大規模な出生コホート調査です。今回、医学研究科の上島通浩教授がセンター長を務める「エコチル調査愛知ユニットセンター」では2023年2月11日(土)、12日(日)の2日間、調査対象となっている皆さまの交流イベントを開催しました。上島教授によるエコチル調査継続についてのお話に加え、海洋生物、海洋環境保全の専門家である「さかなクン」を招いてのクイズやトークショーを行い、参加いただいた計940名の皆さまに盛り上がっていただきました。



グループ討議の様子

新たな教養科目「NCUラーニング・コンパス」を開講

本学では令和5年度から教養教育のカリキュラムを改定し、現実世界の課題に対して、知識・スキル、態度・価値観などを結集させて取り組むための能力である資質・能力（コンピテンシー）を身につけるための授業としてNCUラーニング・コンパスを新たに開講しています。

本授業ではオンデマンド学習とグループ討議を交互に取り入れて行っており、グループ討議は各学部の教員や人事交流でお越しいただいている名古屋市立高校教員の協力により運営されています。

5月30日（火）には、対話型人工知能（AI）「チャットGPT」を題材に、人工知能研究の人為的なコントロールの是非についての討議を行うなど、これから始まる本学での学びの羅針盤を手に入れるための新入生による活発な議論が繰り広げられています。



名古屋市立大学病院 トルコの地震被災地への医師派遣に参加

医学研究科の山岸庸太講師が、2023年2月にトルコで発生した大地震の被災地へ国際緊急援助隊の一員としての医師派遣に参加しました。

<山岸先生コメント>

今回、私は国際緊急援助隊医療チームの2次隊64名のメンバーの1人として、トルコにて災害支援をして参りました。派遣要請を受けてから直ちに大学の承諾を得て、当直明け2月23日（木）に東京へ移動。国内各地から集めたメンバーと合流し、結団式。翌24日（金）のフライトでトルコへ飛びました。活動拠点の都市、ガジアンテプに到着後、被害の甚大さを目の当たりにしながらバスで移動し、オウゼリ国立病院仮設診療所に隣接した現地に診療サイトを設営。計12日間、主に外来部門で活動しました。

1日に約100名の傷病者を診察し、手術も行いました。医療チーム全体では、約1ヵ月の活動中におよそ2,000名の傷病者を診察しました。

医療チームの団長から「厳しい条件下であっても、皆さんがこのミッションを楽しんでください。皆さんの笑顔がトルコの被災者を笑顔にしますから」との挨拶があり、被災者の方々の身体を治す事はもちろん、心に寄り添うことが日々の診療でも大切な事であると心に留めて、日々対応させていただきました。

救命センターでの高度な医療はもちろん必要ですが、国や人種に関係なく人間同士の心が通じ合った関係が医療の本質であると改めて理解する機会ともなりました。トルコ共和国の早期の復興を願っております！



医学研究科 山岸庸太講師



現地診療テント内の様子

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE



台北市立大学(台湾)と大学間交流協定を締結しました

2023年2月21日（火）、人文社会学部の山田美香教授が中心となり台北市立大学(台湾)と大学間交流協定および学生交流協定を締結しました。同日、協定締結式がオンラインで開催され、両大学の学長はじめ、関係者が出席しました。

式の中で、先方学長のYin-Hao Chiu教授、本学学長の浅井清文教授は「名古屋市立大学と台北市立大学には共通点も多く、たくさんの学生がお互いのキャンパスで学ぶことに興味を示すだろう」と述べられました。お互いの大学の紹介をはじめ、今後の交流についても活発な議論が行われ、終始穏やかな雰囲気での会が進行しました。

今後は、学生の交流プログラムも開始される予定です。



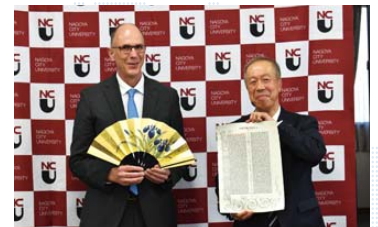
オンラインでの協定締結式の様子

ルートヴィクスハーヴェン経済大学(ドイツ)と拠点校設置合意に関する協定を締結し、締結式を行いました

2023年3月2日（木）、ルートヴィクスハーヴェン経済大学(ドイツ)との間で拠点設置合意に関する協定を締結し、本学本部棟にて締結式が開催されました。

式には、先方大学よりグンター・ピラー学長、同校東アジアセンター所長フランク・レーベカンブ氏が参加しました。本学より浅井学長、横山国際交流センター長、薊看護学研究科長、経済学研究科の板倉教授、下野教授が参加し、今後の両校の交流について活発な議論が行われました。また、同日にグンター・ピラー学長による「スマートシティにおける技術導入」についての講演が行われ、教員や研究者が参加しました。

同大学とは、2009年に大学間交流協定が締結され、それ以降活発な交流が行われてきました。今回の協定締結によりドイツ・欧州での学術・学生交流活動のますますの活発化が期待されます。



協定締結式での記念品贈呈の様子



招へい学生による実験体験（NMR測定）の様子

トルコから優秀な学生を招へい!

科学技術イノベーションに貢献しうる優秀な人材の養成・確保や国際的頭脳循環の促進を目的とした「さくらサイエンスプログラム」共同研究活動コースにより、2023年2月7日（火）から21日間、ハジェテペ大学(トルコ)の学生と教員を2名招へいしました。新たな共同研究展開に向けた実験手技の修得および日本の歴史・文化を体験する機会を持ちました。



学生の活躍

経済学部 ヴィ・ド・フランスにて学生考案のパンが発売!

2023年1月に、ヴィ・ド・フランス上前津店にて「冬こそ、食べてみたい、買ってみたい商品」をテーマにした、学生考案の商品「生ハムレンコンサンド」と「ごろごろ野菜のシチューグラタン」が限定発売されました。この連携事業は、平成30年から毎年行っています。今年も学生から出されたたくさんのアイデアの中から開発を重ね、商品化に至りました。寒い冬に思わず手に取りたくなるパンです!



学生考案のパンをPRしました



生ハムレンコンサンド(写真左)考案者の和井田真生さん(現在3年生)コメント
「忙しい朝や昼にも、気軽にバランス良く食べられるのでは」

シチューグラタンパン(写真右)考案者の永澤未来さん(現在4年生)コメント
「食べる人に温かみを感じてもらいたいです」



特命広報官に挑戦!

名古屋市が実施する実証プロジェクトにおいて同世代の目線からアイデアを出し、30歳以下の若い世代への効果的な広報活動を展開する“特命広報官”に経済学部の寒川さんと土田さんが挑戦しました。名古屋市応急手当研修センターで実施している救命講習へ若い世代の参加者を増加させるためInstagramアカウント(@tokumei_kohokan)を作成し、動画を使った広報を実施しました。

寒川 由夏さん(4年生) コメント

「消防局の方々と意見を出し合って行ったSNSコンテンツの制作が楽しかったです!今後も救命講習を受講する重要性を伝え、参加したいと思う人が増えるように頑張ります!」

土田 千夏さん(4年生) コメント

「実際にInstagramの投稿が1.5万回再生に達し、注目度が高いことが分かり、勉強になりました。実際に提案した内容の動画を作成して、もっと多くの人に注目してもらい、受講しに来てもらえるように頑張ります!」



救命講習を受講する様子



特命広報官の活動報告会の様子



学生の受賞

※学年は受賞時



薬学部

日本生化学会中部支部 支部長賞

<受賞者>

薬学部薬学科6年

神経薬理学分野 加藤 遥輝 さん

病態生化学分野 竹腰 祐斗 さん

薬学部生命薬科学科4年

病態生化学分野 徳永 柊 さん

細胞情報学分野 山中 翔悟 さん



左から 徳永さん、竹腰さん、山中さん、加藤さん

大学院 薬学研究科

日本化学会東海支部 支部長賞

<受賞者>

薬学研究科 博士前期課程2年

コロイド・高分子物性学分野

平井 綾音 さん



大学院 芸術工学研究科

2022年度日本建築学会大会学術講演会

若手優秀発表賞(建築計画)

<発表テーマ>

「在宅ワーク評価の実態把握 その2 クラスタ別に見る仕事や生活に対する評価の差異の考察」

<受賞者>

芸術工学研究科 博士前期課程2年

野々田 幸恵 さん

<発表テーマ>

「認知科学的観点から踏まえたワークショップにおける家具・道具および人的要因の検討」

<受賞者>

芸術工学研究科 博士前期課程1年

高橋 あひろ さん



野々田さん(右)と高橋さん(左)

大学院 芸術工学研究科

2022年度日本建築学会大会学術講演会

シェル・空間構造部門 若手優秀発表賞

<発表テーマ>

「Konrad WachsmannのGrapevine Structureに関するリバース・エンジニアリング」

<受賞者>

芸術工学研究科 博士前期課程1年 井上 翼 さん



芸術工学部

令和4年度空調和・衛生工学会中部支部学術研究発表会優秀ポスター賞

<受賞者>

芸術工学部 建築都市デザイン学科4年 松原 茉莉子 さん



PRIZE 受賞



※受賞期間：2022年12月～2023年3月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■ 医学研究科



特定非営利活動法人日本分子生物学会
第45回 日本分子生物学会総会
2022 Science Pitch Award

<テーマ>

「抗がん剤、プレオマイシンは細胞毒性が優位な場合、肺における線維化を進めない
～Precision-cut lung slices, PCLSを利用した抗がん剤評価～」

<受賞者>

医学研究科 神経発達症遺伝学 研究員
三浦 陽子



日本亜鉛栄養治療研究会
第25回 日本亜鉛栄養治療研究会学術集会
奨励賞

<テーマ>

「肝胆膵外科における亜鉛欠乏症のプロファイル」

<受賞者>

医学研究科 消化器外科学 病院助教
村瀬 寛倫

■ 薬学研究科



2023年度日本薬学会学術振興賞

<テーマ>

「クロライドチャネルの多彩な生理機能と病態機能変化」

<受賞者>

薬学研究科 細胞分子薬効解析学分野 教授
山村 寿男



2023年度 日本薬学会奨励賞

<テーマ>

「構造特性を利用する新規合成手法の開発と天然物合成への応用」

<受賞者>

薬学研究科 薬品合成化学分野 講師
池内 和忠

■ 経済研究科



第11回 名古屋大学水田賞

<受賞者>

経済学研究科 教授
藤田 菜々子

「名古屋大学水田賞」とは…

人文・社会科学(思想史)の分野で優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、研究の発展を支援する賞です。
故・水田 洋 名古屋大学名誉教授のご寄附に基づき設立されました。

藤田菜々子教授(右)

■ 人間文化研究科



第38回 電気通信普及財団賞
(テレコム学際研究賞) 奨励賞

<受賞者>

人間文化研究科 講師
岡村 優希

■ 理学研究科



永井科学技術財団賞(学術賞)

<受賞者>

理学研究科 教授
雨夜 徹

名譽教授称号付与

以下の各位に2023年度4月1日付で名譽教授の称号が付与されました。
専門分野において研究・教育に尽力される一方、
本学の発展および管理運営に大きく貢献された各氏に、
多年にわたるご尽力に感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

医学研究科 道川 誠 教授
経済学研究科 白杵 政治 教授
人間文化研究科 阪井 芳貴 教授

人間文化研究科 矢野 均 教授
芸術学研究科 志田 弘二 教授
芸術学研究科 鈴木 賢一 教授



(前列左から)鈴木教授、矢野教授、阪井教授、白杵教授

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

| 開催日 | 内容 | 時間・場所・費用など | 申込方法 |
|-----------|--|--|---|
| 7.12 WED | データサイエンス学部開設記念シンポジウム 【第一部】基調講演「デジタル時代の人材像とデータサイエンスの未来」 講師：孝忠 大輔 氏 (日本電気株式会社AI・アナリティクス統括部長) 【第二部】パネルディスカッション | 13:30~16:00 桜山キャンパス さくら講堂 費用：無料 | メールでお申し込みください cupre@sec.nagoya-cu.ac.jp <申込締切>6月30日 参考URL: https://www.nagoya-cu.ac.jp/data-science/ |
| 9.29 FRI | どうする看護研究 ①いのは「い」～研究疑問から研究計画書作成まで～ 講師：安東 由佳子 | 10:00~15:00 桜山キャンパス 看護学部棟 費用：4,000円 | メールでお申し込みください n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先> TEL:052-853-8042 <申込締切> 9月14日 参考URL: https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/ |
| 9.30 SAT | なごや看護実践セミナー 1. 訪問先でも慌てない! ～訪問看護で遭遇しやすい症状トップ3 (痛み、発熱、呼吸困難)のアセスメント～ 搬送する?搬送しない?判断に迷わないためのアセスメント力を身に付けよう! 講師：石井 房世、清水 真名美、鬼塚 真実、吉村 元輝 | 14:00~17:00 桜山キャンパス 看護学部棟 費用：3,000円 | <申込>メール、名古屋市電子申請 n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先> TEL:052-853-8042 <申込締切> 9月7日 |
| 10.30 MON | なごや看護実践セミナー 2. 高齢者の頻尿や尿失禁、排尿困難に対するアプローチ 一押さえておくべきポイントー 講師：窪田 泰江 | 10:00~12:00 桜山キャンパス 看護学部棟 費用：2,000円 | <申込>メール、名古屋市電子申請 n.center@med.nagoya-cu.ac.jp <問い合わせ先> TEL:052-853-8042 <申込締切> 9月28日 |

夏開催 OPEN CAMPUS

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/event/open-campus/>

学部により、開催日程が異なります。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

- | | | | |
|----------|-------------------|--------------|----------|
| ■ 医学部 | 8.5 SAT | ■ 芸術工学部 | 8.19 SAT |
| ■ 薬学部 | 8.5 SAT / 8.6 SUN | ■ 看護学部 | 8.22 TUE |
| ■ 経済学部 | 7.22 SAT | ■ 総合生命理学部 | 7.15 SAT |
| ■ 人文社会学部 | 7.8 SAT | ■ データサイエンス学部 | 8.19 SAT |



教員著書・発行物紹介

半寿回想
出版：2023年3月31日
(自費出版)
著者：名古屋市立大学薬学部同窓会
薬友会会長 河村 典久

からだの錯覚
～脳と感覚が作り出す
不思議な世界～
出版：2023年4月13日
講談社
著者：芸術工学研究科
准教授 小鷹 研理

令和5年 春の叙勲

経済理論の研究業績により、このたび瑞宝章を受章されました。ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後の活躍をお祈りいたします。

瑞宝中級章 受章者：宮原 孝夫 名古屋市立大学名誉教授

<コメント>
大学で自由に研究できる環境においただけのおかげと感謝しております。数学(主として確率過程論)及びその応用分野としての数理ファイナンスの研究をしてまいりましたが、近年数理学の重要性が高まっているのを感じます。今後も数理学の発展に少しでも貢献できればと思っています。

「名市大ブックス」シリーズ最新巻

13巻・14巻を出版! (6月30日発売)

社会貢献活動の一環として2020年から出版を続けている「名市大ブックス」シリーズ。その最新巻となる13・14巻の2冊を出版します。それぞれテーマとなるキーワードは「ストレス」と「薬」。日常的に触れる機会が多いけれど、より深く知る機会が少ない事柄をテーマに選びました。是非とも、ご一読いただき、学びを深めてみてください。

13巻 / 「ストレスとは?～あなたに合う生き方のヒント」

14巻 / 「意外と知らない薬の話～暮らしに役立つ薬の知識」

寄附顕彰

| | |
|---------------|--------------------|
| 大学振興基金 | 名市大生みらい応援基金 |
| ■個人 | ■個人 |
| 5千円以上 | 村上 実野 様 |
| 非公表 | 非公表 |
| 非公表 | 浅沼 将生 様 |
| ■団体 | 非公表 |
| 非公表 | 株式会社杏林堂薬局 |
| | 代表取締役会長 渥美 文昭 様 |

※五十音順。2023年1月1日から3月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

●本誌掲載の写真は、撮影時のみマスクを外しております。